市政について問う！

一般質問

【個人質問】二月定例会では、十三人の議員が市政について質問しました。

日程	議員名	主な質問項目（太字掲載）	掲載頁
3月4日	殿岡　修	**鉄道高架の市民への影響**、原の帯笑園のあり方	8
	山下富美子	**子ども・子育て支援**	8
	梅沢　弘	鉄道高架事業、**観光振興政策**	9
	梶　泰久	地域防災、消防団、**メンタルヘルス対策**	9
	岩崎　英亮	定住人口の増加、まちづくり指標、**スポーツ振興**、地震被害想定	9
	伊藤　正彦	**人口減少対策**	9
	渡邉　博夫	**市東部の地域振興**、商業振興、環境対策、土地利用、市民後見制度	10
	片岡　章一	90周年記念事業総括、**新公会計制度対応**、ネット依存対策	10
	長田　吉信	**読書活動の推進**、障がい者支援としてのヘルプカード導入	10
	頼重　秀一	**孤立集落対策**、液状化対策、火山防災対策、広域道路網整備	10
3月5日	髙橋　達也	**ことばの教室**、要援護者リストの平時利用	11
	加藤　明子	**応急手当て普及啓発**、AEDのコンビニ設置、ふるさと納税制度	11
	山崎　勝子	子ども・子育て支援新制度、**保育の公的責任**	11

鉄道高架の市民への影響

鉄道高架事業を進めることによる市民への影響は

殿岡　修

問 鉄道高架事業は、駅南北交通の円滑化や沼津駅周辺の活性化に資する事業として実施してきたものであるが、東駿河湾環状道路の開通に伴う市内への車数の減少や、少子高齢化による自家用車保有台数の減少に加え、市立病院東側への大型店舗の郊外出店等により、駅周辺のにぎわいが徐々に失われつつある中、①多額の費用を投資して本事業を進める意義は。②財源の見通しは。③駅周辺の商店街を維持・発展させるための施策は。

答 **沼津駅周辺整備事務局長**／①本事業は、本市の中心市街地が抱える交通環境や南北市街地分断の問題を抜本的に解消し、県東部地域の拠点都市を形成するために効果的な事業であると考えている。②経費の節減に努めるとともに、国・県支出金や市債の適正な活用などを行っていく。③駅周辺の商業の維持・発展を図るために、本事業や土地区画整理事業などによる社会資本整備と合わせて、まちなか居住の推進や既存の商業等の集積を活用しながら、質の高い生活環境を提供する都市機能を導入することにより、社会情勢の変化に合わせた持続可能な魅力ある中心市街地の形成が図れるものと考えている。

子ども・子育て支援

子ども・子育て支援に対する取り組みは

山下　富美子

問 幼児期の教育・保育や地域の子育て支援を総合的に進める、子ども・子育て支援新制度が平成二十七年度から開始されるが、①新制度への移行に伴い設置される、子ども・子育て会議が担う役割は。②子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールとその体制は。

答 **福祉事務所長**／①子ども・子育て会議は、保育所、幼稚園、放課後児童クラブに通う子供の保護者のほか、大学講師、民生委員、児童委員といった学識経験者等、計十二人で構成され、子ども・子育て支援事業計画の策定を初め、子ども・子育て支援に関する施策の推進に必要な事項及び実施状況について調査・審議する。本会議は、子育て施策が地域の実情を踏まえて実施されることを担保するために重要なものであると考える。②子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールについては、平成二十六年九月までに概要を取りまとめて県に提出し、平成二十七年三月までに策定する予定である。策定体制については、副市長を委員長とする策定委員会等を設置して計画原案の作成・検討を行い、その結果を子ども・子育て会議に提示し、会議での意見を本計画に反映させる。